

斉藤 理 SAITO Tadashi

研究分野：文化遺産論、地域文化創造論

キーワード：文化構想、歴史的建造物、観光まちづくり



研究トピックス：

## 人の行動分析を軸とした、新たな文化構想に関わるプロトコル開発

研究の要旨：

日欧の文化遺産分析を中心に、歴史的建造物を活用した観光まちづくりや、地域文化を支えるコミュニティ・サービスラーニングの実践的研究等を進めています。  
近年は国際文化学（文化間の接触で生まれるダイナミクスに着目する学び）を基盤に、地域社会の文化的ポテンシャルを向上させる試みを様々な

自治体と共に取組んでいます。  
とりわけ、グローバル時代に対応し、世界のどこでも実践できる地域調査法の開発に力を入れています。  
人の行動に着目した本研究室独自の「動詞抽出調査法」VERMを各地で試行。各地のまちづくり、地域文化構想のプランニングに活用されています。

人びとの「小さな、しかしユニークなアイデア」を  
地域文化構想に展開させていくための最適なプロトコル開発を進めています。



主な関連業績：

- ・斉藤理, 行動論的アプローチから観光まちづくりを考える ～新たな「動詞抽出調査法」の提案を中心に～, (日本国際文化学会年報『インターカルチュラル』第15号, 2017, pp.87-106 所収) / 第7回平野健一郎賞受賞論文
- ・Tadashi Saito, Study on Methodology for Spontaneous Community Development Through Tourism, a new approach "The verbs extraction method", Symposium "Globalization of tourism in remote areas", CASCA/IUAES2017 Conference at the University of Ottawa, Ottawa, May 2-7, 2017

教員紹介へのリンク

教員データベースへのリンク